

祝 辞

本日、第51回愛媛県小中学校教頭会研究大会が、「風とらえ風おこす」まち、八幡浜市で、このように盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様方には、それぞれの学校や地域の要として、愛媛の教育の推進に格別の御尽力をいただいておりますことに、この席をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

さて、県では、第六次長期計画において、「未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”」ことを掲げ、「確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進」に努めております。

確かな学力の定着・向上につきましては、県の重点戦略事業の一つに位置付けられている学力向上システム構築事業を中心として、長期のビジョンをもって取り組んでいるところです。各学校におきましては、学力向上推進主任を中心として、8月に結果が公表されました全国学力・学習状況調査や、県学力診断調査、定着度確認テスト等を活用し、教員の指導力の向上や学校の組織的な取組の強化を図り、「分かる授業 考える授業 伸びる授業」が展開されるよう、努めていただきたいと思います。

また、8月には、平成29年に開催される愛媛国体の愛称とスローガンが決定いたしました。愛称は、「愛^え顔^がつなぐえひめ国体」、スローガンは、「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」であります。愛媛国体を契機として、トップアスリートが育つことはもちろん、県内の多くの子どもたちが、身近なスポーツを通じて仲間とともに心地よい汗を流し、充実感や達成感を分かち合うことを期待しております。

本日の分科会において、「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校

をめざして ～豊かなかかわりの中で たくましく よりよく生きようとする子どもの育成～」の研究主題のもと、教育課程や学校運営等に関する課題について、地域を越えて有意義な協議が展開されますことは、教頭としての資質・能力を高める絶好の機会であるとともに、愛媛の子どもたちの「生きる力」を育む学校教育の充実につながるものと考えます。

ここ八幡浜は、宇和海に漕ぎ出し、遠くアメリカ大陸に渡った打瀬舟、二宮忠八の玉虫型飛行機など、いにしえから「風」をとらえた先進的な取組が行われてきた地域であります。御参会の皆様方におかれましても、今、教育に求められている「風」をとらえ、改善・変革の「風」をおこし、愛媛の教育を力強く牽引していただきますようお願いいたします。

来年度は、本県におきまして、第31回四国地区小中学校教頭会研究大会が開催されると伺っております。本日の大会が来年度につながる実り多いものになることを期待いたしますとともに、愛媛県小中学校教頭会のますますの御発展と皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成24年10月26日

愛媛県教育委員会 教育長 仙波 隆三